

各校区で 来年度を見通しながら 取組を進めています！

高瀬教授の指導を 取組に活かす金光地区

12月2日(木)、金光竹小学校で、金光地区第2回学校運営協議会が開催されました。

まず、夏の熟議の会後の各グループの取組を報告し合いました。重点である「あいさつ」は、子どもたちの作ったポスターを各地に貼って啓発していくことになりました。次に、小小連携の取組や金光中学校のオープンスクールについて振り返りました。そして、来年度に向けて、教科指導でも連携していくことや幼小の連携を深めること、中学生の活躍の場を作ることなどが話し合われました。

最後に岡山大の高瀬教授から「この会議が和やかな雰囲気の中で進められているのが良い。あいさつは、まず地域の方々が子どもたちに声をかけてほしい。地域で繰り返していくことで、子どもたちは受け入れられている喜びを知る。子どもたちは、認められることで、将来社会で役に立ちたいと思うようになる。他者との関わりが増えていくと、自己肯定感も高まってきます。」と指導していただきました。

次回は、令和4年1月28日(金)の予定です。



高瀬教授の指導[R3.12.2(木)]

キラリ5「家庭・地域と協働のキラリ」



金光の5つのグループの取組の発表[R3.12.2(木)]

キラリ3「子どもたちの活動のキラリ」



元気に登校する金光竹小学校の児童たち[R3.11.25(木)]

あいさつで 地域も学校も キラリ！

11月25日(木)、学校教育課のあいさつ運動で、金光竹小学校を訪問しました。登校班によっては、学校のすぐそばまで、地域のボランティアの方たちが、付き添っておられました。

金光地区学校運営協議会では、「あいさつができる子」の育成が、活動の重点の一つでもあります。教職員が保護者や地域の方々と協力して、継続して取り組むことが重要です。子どもたちの元気な姿から、私たちも元気をもらって頑張りましょう。